

# 復興・回復と 更なる発展に向けた 力強い千葉の人と仕事づくり

人口減少や少子高齢化に伴い、本県が誇る商工業や農林水産業などの産業や、医療・福祉・介護分野など県民生活を支える分野において人材が既に不足している状況です。

また、本県の生産年齢人口については、今後とも減少していく見込みであるとともに、令和元年房総半島台風等の災害や、新型コロナウイルスの感染拡大により中小企業や農林水産業などでは、事業継続を断念する者の増加が懸念される状況にあります。

こうした中、将来にわたって活力ある千葉を維持していくためには、若者等の東京流出に歯止めをかけるとともに、女性や高齢者、障害のある人、外国人など、多様な人々の県内での就労や定住を促進し、商工業や農林水産業、医療・福祉・介護や保育分野などにおいて、人材の確保や資質の向上など、活力ある千葉を支えるための人づくりに取り組むことが必要です。

あわせて、若者をはじめとした多様な人々が本県に定住し、それぞれの希望に応じて誰もが活躍できるよう、県内各地に魅力ある雇用の場を創出することが不可欠です。

このため「千葉の人と仕事づくり」を地方創生における各分野を横断する目標として掲げ、取り組みます。



## 基本目標 1

# 地域経済の 好循環を生み出す 環境づくり



産業の振興や新たな雇用の場を創出することで、人々は住み続け、多くの人が転入することにより地域経済は活性化するという更なる好循環を生み出すこととなります。

このため、本県の地理的優位性(東京への近接性、豊かな自然環境等)、優れた社会基盤(成田空港、千葉港、アクアライン、圏央道等)、バランスのとれた産業(全国上位に位置する農業、水産業、工業、商業)をそれぞれの地域で生かすことで、各産業の振興を図り、若者をはじめあらゆる世代に選ばれる魅力的な雇用の場を創出します。

また、人口減少や少子高齢化の進展とともに、風水害や地震など年々激甚化する傾向にある自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大なども地域経済に影響を与える中、本県産業が持続的に発展するよう、商工業の経営基盤や農林水産業の生産基盤等の強化を図るとともに、将来を支える産業人材の確保・育成を着実に進めます。

### 【数値目標】



県内製造品出荷額等

13兆1,432億円  
(2018年)



県内年間商品販売額

12兆5,632億円  
(2016年)

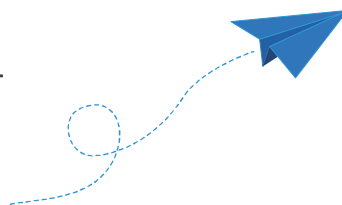


農業産出額

4,259億円  
(2018年)



増加を目指す  
(2024年)



# 1 地域の特성에応じた戦略的な企業誘致の推進

- ・成田空港・アクアライン・圏央道・千葉港等を活用した企業誘致の推進
- ・新たな産業用地の確保
- ・空き公共施設等を活用した企業誘致の推進

# 3 未来を支える新産業等の振興

- ・中小企業の技術開発や生産性向上等の促進
- ・新産業の振興
- ・新エネルギー等の利活用、導入促進



中小企業等の研究開発などを総合的に支援する東葛テクノプラザ

# 5 中小企業の活性化支援

- ・中小企業の経営基盤強化
- ・中小企業等の人材確保
- ・事業承継の推進
- ・産業人材の育成支援
- ・働き方改革の推進

# 7 地域と空港の発展が好循環する地域づくり、交通ネットワーク・アクセスの強化

- ・成田空港を支える人材の確保を起点とした地域づくり
- ・更なる機能強化を見据えた成田空港の利活用の促進と人・モノの流れの取り込み
- ・交通ネットワークの強化・充実



成田国際空港(提供:成田国際空港株式会社)

# 2 力強い農林水産業の確立

- ・農林水産業を支える多様な担い手の確保・育成
- ・力強い産地づくり
- ・生産基盤の充実強化と施設等の保全管理
- ・県産農林水産物の販売促進と高付加価値化の推進
- ・耕作放棄地の発生防止・解消及び有害鳥獣被害対策の強化
- ・試験研究の充実
- ・環境や資源に配慮した農林水産業の推進



ちばの農林水産物

# 4 京葉臨海コンビナートの競争力強化

- ・京葉臨海コンビナートの生産性向上や事業環境の改善
- ・コンビナートを支える人材の能力向上や担い手の育成

# 6 地域の創意工夫による経済活性化の取組の促進

- ・商店街の活性化支援
- ・地域資源の活用、ブランド化の推進
- ・起業・創業の支援

# 8 主要都市間の交通アクセス整備

- ・圏央道などの高規格幹線道路等の整備促進
- ・アクアラインの料金引下げの継続
- ・国道・県道のバイパス・現道拡幅等の整備推進



東京湾アクアライン

# 県内外に発信する 魅力づくり



人口の減少が見込まれるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により人の流れが停滞する中、地域の活力を高めていくためには、本県の優れた地域資源を活用して移住・定住の促進や交流人口の増加を図ることが重要です。

このため、各地域が持つ資源を徹底的に洗い出し、日本人のみならず、日本を訪れる外国人の視点からも魅力のあるものに磨き上げるとともに、国内外の誰もが安全で安心して過ごしやすく住みやすい環境づくりを進めます。

また、こうして作り上げた「魅力の宝庫ちば」を国内外に積極的に発信し、人々が集う魅力あふれる千葉の実現を目指します。

## 【数値目標】



人口の社会増

17,187人  
(2019年)

▲  
増加を目指す  
(2024年)



観光入込客数

1億8,683万人  
(2018年)

▲  
2億400万人  
(2024年)



外国人延宿泊数

4,798千人泊  
(2019年)

▲  
5,500千人泊  
(2024年)

# 1 国際都市として発展する CHIBAの基盤づくり

- ・ 外国人観光客の受入環境の整備
- ・ MICEの誘致
- ・ 国際交流の推進



幕張メッセ周辺地域

# 2 国内外の誰もが訪れたいくなる 観光地づくり

- ・ 千葉ならではの資源を活用した新たな観光需要の開拓
- ・ 鉄道事業者やバス事業者等と連携した観光メニューづくり及び二次交通活用の仕組みづくり
- ・ 誰もが快適に過ごせるための環境の整備
- ・ 農山漁村の活性化に向けた地域資源の活用
- ・ 観光地へのアクセスを強化する道路整備の推進



菜の花といすみ鉄道

# 4 大学等との連携による地域への 若者の定着促進

- ・ 大学等卒業後の若者の定着支援
- ・ 医療・福祉・介護人材の確保と資質の向上
- ・ 地域を支える人材の育成



若者と一緒に考える地域活性化セミナー

# 3 居住地として選ばれる 千葉づくり

- ・ UIターン等の促進
- ・ 都心へのアクセス強化
- ・ 地域間のアクセス強化
- ・ 地元への愛着と誇りの醸成



千葉の暮らしやすさを紹介する「ちよつどいい千葉」

# 5 千葉の様々な魅力の 国内外への発信

- ・ 国内向け広報・魅力発信
- ・ 世界に向けた千葉の魅力発信
- ・ 戦略的な観光プロモーションの展開
- ・ 千葉ならではの多様な魅力の発信



佐原の大祭